

根深い自治体への不信

全建

ブロック会議

総括 ④

地方自治体の総合評価方式がブロック会議で焦点と
なったのは、地方建設業界が指摘する「品確法（公共
工事品質確保促進法）施行
から2年以上経過して、ま
だ地方自治体には浸透して
いない」という問題だけで
はない。

地方建設業界の総合評価
に対する関心を一気に高め
たのが、2006年末に全
国知事会が打ち出した公共
調達改革指針だった。

総合評価方式の導入も盛
り込まれていたにもかかわらず、首長が問題意識
らず一般競争入札だけの導
持っていないんだからお

首長の問題意識が鍵握る

手上げ。発注者の首長は、
地域のことを考えずに選挙
のことが頭にない「こと
も地方建設業界の地方自治
体への不信を増幅させた。
また国の関与を抑制する
地方分権化の流れと、国と
地方の行財政改革である三
位一体改革によって、国と
都道府県の、市町村に対す
る関与の度合いが減少した
ばかりでなく、自治体の財
政悪化によって国の補助事
業と自治体の単独工事も大
幅に減少した。

「総合評価方式は拡大傾
向にある」。関東地区を皮
切りに始まった全国各地の
ブロック会議で、出席した
都道府県・政令市の担当者
村のうち6割が導入予定」
争入札することは、不良・

（北陸地方整備局）と成果
が上がっている地域がある
ことも明らかになった。
ただ地方建設業界には、
「総合評価を導入している
と胸を張っても、対象件数
は県々さえもほんのわずか
で、技術評価のウェイトも
低い。ほとんどが価格競争
になっている」との悲鳴が
消えない。

自治体への総合評価の導
入・拡大を、地方建設業界
が強く主張した裏には、現
行の入札・契約制度に対す
る不満と解決への道筋が見
えにくくなっていることが
ある。

総合評価に望みつなぐ

「Aランクも一括りにす
るから問題も起きる。Aの
上に特Aをつくったらい
じゃないですか。企業の評
価は経営内容を含めわれわ
れのほうが良く分かっている。
われわれ協会が企業評

「Aランクも一括りにす
るから問題も起きる。Aの
上に特Aをつくったらい
じゃないですか。企業の評
価は経営内容を含めわれわ
れのほうが良く分かっている。
われわれ協会が企業評

「指名競争に戻してもい
価してもいい」

19年 11月 9日

建設通信新聞